

「平成29年度 第1回 KANSEI“感性”サロン」開催報告

～人間の感覚的であいまいな感性を測る～

主催 国立研究開発法人 産業技術総合研究所中国センター、公益財団法人 ちゅうごく産業創造センター
共催 国立大学法人 山口大学 大学研究推進機構、地方独立行政法人 山口県産業技術センター
後援 中国経済産業局、山口県、広島大学感性イノベーション研究推進機構（COI）、
（一社）中国地域ニュービジネス協議会、（独）中小企業基盤整備機構 中国本部、
日本感性工学会、（一社）日本人間工学会

【概要】

当センターと国立研究開発法人 産業技術総合研究所中国センターは、感性工学・人間工学を活用して商品開発やサービス向上を図り、産業の活性化につなげていく取組を広く紹介するため、「平成29年度第1回KANSEI“感性”サロン」を山口市で開催し、大学や企業などから65名が参加しました。

第1部では、感性・共感・共有感の測り方に関して、古典的な手法や産総研における新しい測定を試みについて、産業技術総合研究所 梅村浩之氏に、また、デザインの本質は、色や形などのデザインの結果ではなく、目的を達成するために優れたインターフェイス（関係性）を作ること、人間行動の変化であることについて、山口大学 クルッツ・クリスチャン氏にご講演をいただきました。

第2部では、中国地域における感性にかかる取組紹介として、中国経済産業局、質感色感研究会の取組を紹介しました。また、中国地域質感色感研究会の具体的な活動紹介として、椴皮の科学的成分分析や主観調査から椴皮の価値を研究し商品展開を図る取組、顧客アンケート調査・分析からオリジナルカー開発におけるデザイン方向性を検討する取組、色感や光学特性の視点から釣糸の視認性を定量化し釣りが楽しくなる釣糸を造る取組についてご紹介しました。

その後、珈琲・紅茶とお菓子による立食形式でカフェ・サロン（情報交換会）を開催し、講演者、発表者を交え参加者で活発な情報交換を行いました。

【日時・会場】 平成29年10月12日（木） 13:30～17:30（受付 13:00～）
山口グランドホテル(新山口駅新幹線口) 山口市小郡黄金町 1-1
2階孔雀会場（情報交換会は、1階ザ・グレイス・ホール）

【プログラム】

≪ 講演 ≫

『産総研における感性・共感・共有感測定の試み』

産業技術総合研究所 人間情報研究部門 人間環境インタラクショングループ 主任研究員 梅村 浩之 氏

『Desire VS. Need、自分ではない人のためのデザイン』

山口大学 国際総合科学部 講師 芸術工学博士 クルッツ・クリスチャン 氏

≪中国地域における取組紹介≫

「中国経済産業局における感性にかかる取組について」

中国経済産業局 産業部 流通・サービス産業課 コンテンツ産業支援室 産業支援係長 山下 洋司 氏

「中国地域質感色感研究会の取組について」

ちゅうごく産業創造センター 事務局

「椴皮の質感・色感の基礎研究」

有限会社ひわだや 取締役 小池 長 氏

国立大学法人 山口大学 准教授 長 篤志 氏

「オリジナルカー開発におけるデザイン方向性の検討」

株式会社アルジュ・ジャパン 代表取締役 石田 正記 氏

国立大学法人 山口大学 准教授 間普 真吾 氏

「釣糸の視認性評価について」

株式会社サンライン 製造本部 開発部 松尾 茉美 氏

近畿大学 研究員 博士（工学） 米原 牧子 氏

≪カフェ・サロン≫

珈琲・紅茶とお菓子による立食形式での情報交換会（無料）

【会場・講演風景】

